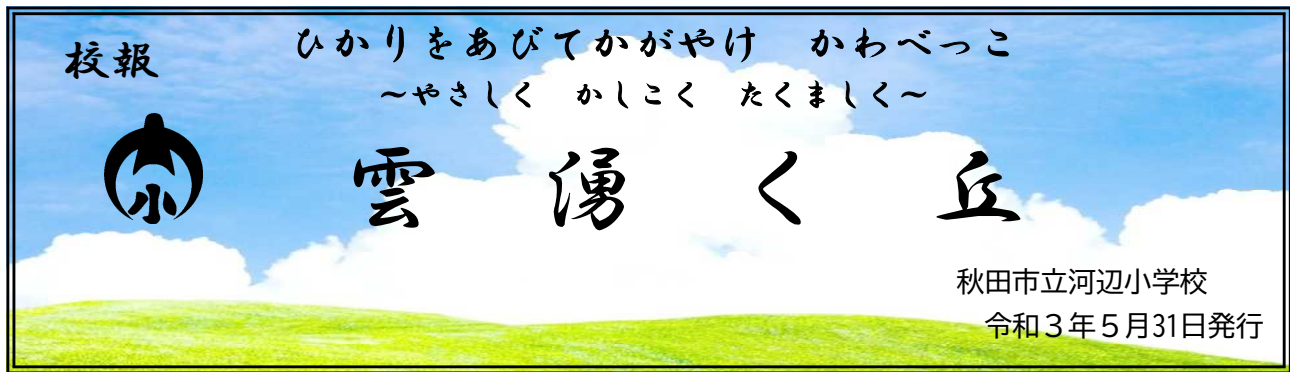




私の小学生の頃の遊びといえば、放課後に友だちと広場で三角ベースの野球をすることでした。友だちの多くは、読売ジャイアンツの長嶋選手や王選手に憧れていました。ところが、当時の私は、南海ホークス（現在の福岡ソフトバンクホークス）の野村選手が大好きで、好きな背番号は野村選手の19番、友だちからは「なぜ野村？」と、ちょっと変わり者扱いされていました。理由は簡単、はっきりしています。野球好きの父親から、「野村選手は、テスト生で南海ホークスに入団して、努力を積み重ねてスターになった、最高の選手だ」と常々聞かされていたからです。



始業式では、「努力」と「協力」の大切さを子どもたちに話しましたが、今回は努力と関係した故野村克也氏の言葉を紹介したいと思います。

勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし

現役時代に名捕手としてならし、監督としてもヤクルト・阪神・楽天などを率いて名将として知られる故野村克也氏の座右の銘として知られている言葉です。

出所は、江戸時代の肥前平戸（今の長崎県平戸）の殿様「松浦静山」とのことです。心形刀流の剣術の達人であった静山は、勝負の原則について「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」と喝破したのです。

ある企業者は、企業経営の視点からこの静山の格言を次のように捉えています。

予期せぬ失敗が発生した時、その原因を虚心に反省してみると、失敗には必ず「失敗の原因」が見つかるものである。売り上げが目標に到達しなかったのは、お客様の声を正しく聴いていなかったとか、セールスマンの教育が十分でなかったことが原因である。つまり、「失敗に不思議の失敗なし」である。

「勝ちに不思議の勝ちあり」というのは、勝ちには時に『運』が働く、あるいは『運』が左右することがあり得ることを意味している。だが『運』は黙っていても天から降ってくることもあるが、実際には、努力を重ねた人の前に姿を現すことが多いのである。世界の発明王といわれたエジソンも、その成功の条件を「99%の汗が1%の発明を生み出す」と表現し、日常の努力が運を呼ぶことの重要性を語っている。

「負けに不思議なし」を解決するためには、「当たり前のことを当たり前に行うこと」であり、また、「やるべきことを手を抜かずきちんと行う」ことである。

人は元来、成功や失敗の原因を「自分以外」（環境や人）に求めるか、反対に「自分自身」（考え方や方法）に求めるのか、の二つの面をもっているように思います。

ともすれば、人間は成功したことを振り返る時には、「自分のやり方が正しかったからだ」とか「自分が努力したからだ」というふうに考えてしまう傾向にあり、逆に失敗したことに対しては、「相手が悪かったからだ」とか「ベストを尽くしたのに運が悪かったからだ」などと思ってしまいがちです。

さて、学校では今、様々な計画ができあがり、今年度の教育活動を始めていきます。子どもたちも同様です。それぞれがめあてをもち、その実現に向けて努力をしていきます。そして、それぞれが前学期を振り返り、成果と課題を明らかにし、後学期に向けて意を新たにしていきます。

前学期を振り返ったときに、成果（成功）については、これは「運のなせる業だ」と思って謙虚に受け止め、精進を続けるべきであり、逆に課題（失敗）については「運のせいではなく、あくまでも自分自身に原因があったのだ」と、腐ることなく課題に向き合い、さらなる努力を続けたいものです。

『勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし』

今なお語り継がれる、200年以上も前のこの剣術の心得は、私たちにそう教えてくれているように思います。

3年生 自然科学学習館（アルヴェ）での理科教室

5月14日（金）に、自然科学学習館での理科教室に参加しました。はじめは、4階でワークショップを行いました。モーターで動くおもちゃ作り、「くるくるカップを作ろう！」の学習です。初めて扱うモーターの面白さに興味をもち、真剣に講師の先生の説明を聞きながら作業に取り組みました。モーターを取り付ける位置によって動き方が変わることを知り、何度も試しながら一番好きな動き方を見つけ、お気に入りの「くるくるカップ」を完成させることができました。次は、5階の展示体験スペースに移動して、「見つけよう 感じよう たくさんのふしぎ」の学習です。職員の方々から公共の施設を利用するときのマナーやコロナウィルス感染拡大防止のための約束の説明がありました。みんなよく聞き、しっかりとマナーや約束を守って活動することができました。展示物やおもしろグッズを自由に体験して、たくさんの不思議を感じてきました。3年生から始まった理科の学習ですが、科学や自然事象に対する興味・関心を高めることができた2時間でした。



6月の主な行事

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 9日（水） 避難訓練、集団下校訓練 | 17日（木）～18日（金） 修学旅行（6年生） |
| 23日（水） 学校運営協議会Ⅰ | |
| 25日（金） 秋田市教育委員会指導主事計画訪問 | 全校4校時限 |